



国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

2013年8月30日

犬山市議会 議長 堀江 正栄 殿

提出者（代表） 江南市赤童子町福住22番地
尾北民主商工会
会長

紹介議員
氏名

水野正光 岡
岡村千里



【請願趣旨】

安倍政権の経済政策により、株価の値上り、急激な円安が進行し、景気指数向上の効果が出ていると報道されています。しかし、食料品やガソリンなどの値上りで私たちの暮らしは苦しくなる一方です。多くの国民は「景気回復」を実感しておらず、雇用情勢や個人消費も厳しい状況にあります。犬山市内での経済の疲弊も甚だしく、失業率は目に見える改善もなく、中小企業の倒産・廃業にも歯止めがかかっていません。

参院選挙後の世論調査でも、「消費税の増税に反対」が増えており、「消費税が増税されれば店を閉めるしかない」「これ以上、どこを切り詰めて暮らせというのか」とかつてない切実な声が高まっています。

消費税はそもそも、低所得者ほど負担が重い税金です。この不況下で税率を引き上げれば、国民の消費はさらに落ちこみ、地域経済は大打撃を受けます。価格に消費税分を転嫁できない中小業者の経営は圧迫され、倒産や廃業が増えることは必至です。そして、そこで働く人々の賃金抑制と雇用不安につながり、犬山市の財政にも深刻な打撃を与えます。財政再建という点でも、1997年に消費税を増税したときの経験から、国全体の税収が減少することは明らかです。政府試算でも「消費税増税により本格的なデフレ脱却には時間がかかる」という結果が出ています。

住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求め、下記事項についてお願いいたします。

【請願事項】

1. 消費税増税の中止を求める意見書を政府に送付していただくこと

